

2016 年度第 2 回理事会議事録

期 日：2017 年 1 月 14 日 (土) 15:00~17:00

場 所：公益社団法人 日本放射線技術学会 東京事務所

出席者：巨瀬 勝美, 内田 幸司, 江田 哲男, 大野 誠一郎, 笠井 治昌, 川光 秀昭,
菊地 克彦, 熊代 正行, 高橋 光幸, 寺田 理希, 土井 司, 沼野 智一, 山崎 良,
錦 成郎 委任：小倉 明夫, 木下 博嗣, 畑 純一, 出席 14 人, 委任 3 人

[報告事項]

1. 第 9 回 MRI 医療安全セミナー (更新講習会) 開催報告

期 日：2016 年 12 月 3 日 (土) 9 時 30 分~18 時 00 分

会 場：首都大学東京荒川キャンパス図書館棟講義室 1・MRI 検査室

参加者：新規 14 人 更新者 31 人

内 容：安全管理講義 6 コマ 基礎講座 4 コマ 研修 3 コマ

VTR 収録：4 月にホームページ更新の予定で編集作業をすすめる

2. 第 12 回 MR 専門技術者認定試験書類審査 (2015 年 12 月 15 日：申請締切 12 日)

初回申請		再受験	(申請者)	(再受験者)
学術成果	技師会資格		第 11 回：309 人	第 11 回：138 人
68 (30.8%)	79 (35.7%)	74	第 10 回：217 人	第 10 回：83 人
147		(33.5%)	第 9 回：226 人	第 9 回：111 人
221 人			第 8 回：186 人	第 8 回：65 人
			第 7 回：167 人	第 7 回：82 人
			第 6 回：139 人	第 6 回：48 人

昨年 309 人 (再受験 138 人 44.7%)

[不備が認められた書類：性能評価試験 5 人]

(受験資格については不備なし)

3. 第 12 回認定試験作成委員会 (2016 年 12 月 23 日 13:00~17:45 JSRT 事務所)

内田 幸司 (えだクリニック)：基礎物理

小倉 明夫 (群馬県立県民健康科学大学)：性能評価

石本 剛 (姫路循環器病センター)：応用技術

上山 毅 (彩都友誼会病院)：アーチファクト・読影技術

大野 誠一郎 (岡山大学病院)：パルスシーケンス・読影技術

笠井 治昌 (名古屋市立大学医学部附属病院)：撮像技術

京谷 勉輔 (神戸大学医学部附属病院) 撮像技術

高津 安男 (大阪赤十字病院)：臨床応用・読影技術

山谷 裕哉 (奈良県立医科大学附属病院) MRI 検査に関わる解剖

木下 博嗣 (フィリップスエレクトロニクスジャパン)：保守点検, 精度管理, 安全性

土井 司 (高清会 高井病院)：MRI 検査の安全管理

4. 更新のための研究会の認定 [77 研究会]

- 承認 2016.3.15 長崎 CT/MR 研究会 福田 徹 (長崎大学病院)
2016.6.27 室蘭 CT.MR 談話会 橋本 公造 (日鋼記念病院)
2016.7.20 山形 MR 技術研究会 工藤 秀夫 (日本海総合病院)
2016.10.10 宮崎 MRI セミナー 小味 昌憲 (宮崎大学医学部附属病院)
2016.10.13 Kanto Advanced MR Forum 北川 久 (東京慈恵会医科大学第三病院)
2016.12.26 心臓血管 MR 画像研究会 後藤 吉弘 (北播磨総合医療センター)

5. 2017 年度学術調査研究班

- (1) 山村憲一郎 (大阪医科大学) Computed DWI の診断能の向上を目指した研究
- (2) 金本雅行 (福井大学医学部附属病院) SSFP を利用した軟部コントラスト向上の研究
倫理審査が通れば承認

6. 国際研究集会 (海外学術大会) への参加費助成

- (1) 金本雅行 (福井大学医学部附属病院) SMRT でのポスター発表

7. 最近の MRI 安全情報 (MR Safety Forum に紹介)

- (1) 条件付 MRI 対応ペースメーカーの遺残リード
リードをデバイス (ペースメーカーなど) に接続することで磁場から発生する電流をデバイス内のキャパシタで静流化することで安全性を確保しているため、デバイスと接続されていない状態で MRI 検査を安全に施行することはできない。
- (2) 植込み型補助人工心臓装着者の MRI 検査について
血液ポンプ内に磁石が使用されているため MRI 検査は禁忌です。
- (3) 保温下着からのアーチファクト
正中にチタン・磁鉄鉱・アルミナで構成された赤外線輻射磁鉄鉱を練り込んだスポンジゴムが貼りつけられている (スーパーダンディ, スーパーエレガンス)。
(膝サポータにも同様のものがあり内田委員から写真提供を受ける)
- (4) 金属繊維が織り込まれた保温下着
繊維の成分に、ステンレス, アルミニウム, 鉄, ニッケル, 銅など金属が含まれていることを明記している保温下着 (ジャンヌダルクなど) が販売されている。

[議案]

1. 書類審査結果について

不備のあった評価について 12 月 16 日に本人宛に修正再提出を依頼した

※ 全員から期限までに修正された性能評価試験の再提出があった。

→ 申請者全員を第 12 回 MR 専門技術者認定試験受験資格取得者として承認する。

初回受験者 : 147 人 (66.5%), 再受験者 : 74 人 (33.5%) 合計 : 221 人

書類審査合格者の受験案内 : 1 月 25 日までを目標に送付する

3. 第12回磁気共鳴専門技術者認定試験準備委員会 [2月25日17時～20時]

土井 司, 山村憲一郎, 内田幸司, 上山 毅, 山崎 良
大阪医科大学新講義実習棟 P101・P301・P302 大阪府高槻市大学町2番7号

4. 第12回磁気共鳴専門技術者認定試験実行委員会 [2月26日8時～17時]

4-1. 第12回認定試験会場の運用 [資料3]

受験受付 大阪医科大学新講義実習棟 P101 室前 (9:10～10:00)
試験会場 P101 室 (1～132) : 132 人, P302 室 (133～221) : 89 人
安全管理講習会 同会場で2会場開催
更新者のための安全管理講習会 P301 室 : 117 人収容

4-2. 委員構成と役割分担

土井 司 (運営・更新講習), 内田幸司 (総括・第一部講師), 山崎 良 (試験・採点)
江田哲男 (受付・更新確認), 菊地克彦 (受付・更新確認), 熊代正行 (受付・更新確認)
石本 剛 (受付), 笠井治昌 (第一会場進行), 大野誠一郎 (第二会場進行),
京谷勉輔・上山 毅 (第一会場), 山谷裕哉・山村憲一郎 (第二会場)
講師 第一部 石森 佳幸 (茨城県立医療大学), 内田 幸司 (えだクリニック)
第二部 清水 徹 (GEヘルスケアジャパン), 木下 博嗣 (フリップスエレクトロニクスジャパン)
第三部 土橋 俊男 (日本医科大学付属病院)
第四部 土井 司 (高清会 高井病院) 17 人 (講師含む)

4-3. 採点システムの変更

試験問題シートと採点システムを変更する。

5. 更新講習会の案内 [資料4]

- (1) 対象者 第2～4回 (LSMR0038～0216), 第7～9回 (LSMR0325～0570)
- (2) 募集期間 1月30日(月)～2月17日(金)
- (3) e-learningによる安全管理講習の受講: 2回目の更新者から利用可
1回目でも申請いただければ事情によってe-learningによる受講を認める。
- (4) 第2回の2回目、第7回の認定更新者も含まれる
- (5) プログラム
11:10～12:00 安全管理講習会 (1) 静磁場, 変動磁場, RF波の人体への影響
13:00～13:50 安全管理講習会 (2) MR装置の安全性とその対策
14:10～14:50 安全管理講習会 (3) 条件付きMR対応ペースメーカーの取扱い
14:50～15:20 安全管理講習会 (4) MR専門技術者の役割

6. 更新案内

- (1) 対象者 第2回 (LSMR0038～0074), 第7回 (LSMR0325～0407)
- (2) 申請期間 2月1日(水)～2月17日(金)
- (3) 電子申請と申請書のコピーと個人票・添付資料の送付
- (4) 専門技術者の更新 1) 磁気共鳴専門技術者 2) 上級磁気共鳴専門技術者

7. 認定試験の採点と認定証の発行

- 1) 採点：試験当日 2 月 26 日（日）中に終える
- 2) 認定者の承認：第 3 回理事会
- 3) 受験者への合否の通知：3 月 20 日頃
- 4) MR 専門技術者申請受付：～4 月 20 日頃
- 5) MR 専門技術者認定証の発行：5 月上旬
- 6) 更新認定証の発行：3 月下旬

8. 第 13 回認定試験会場候補

首都大学東京 2 月末から 3 月初旬 [候補日 2 月 18 日（日）]

9. 第 10 回医療安全セミナーの開催

首都大学東京 11 月～12 月（日曜日・祝日）を候補とする。

10. 認定研究会の承認について

- (1) 企業がからむ研究会の申請
 - ・名称から企業名を外す。
 - ・他企業からの出席を可能にすることや講演なども企業色を外す必要がある。
- (2) 名称
 - ・研究会に地方名があった方がホームページを管理する場合に役立つ。
 - ・開催地が限定される場合は、研究会名に地方名を入れることを推奨する。
 - ・強制はせず「研究会名に地方の名前を付けていただくと管理に役立ちますので、できればいれてほしい」などと案内する。
- (3) 会費
 - ・会場や講師費に経費が掛かっている場合に会費 0 円は認められない。

11. MRI 検査の安全啓発運動

- (1) MRI Safety Forum の充実（写真をできるだけ掲載する）
- (2) 市民向け FAQ サイトの改編：2 月中に完成予定
- (3) MRI 医療安全セミナーの e-learning システムの更新
編集作業が済めば講師の方にチェックしていただく。
- (4) 条件付 MRI 対応ペースメーカーなどの条件一覧表
1 月末までに磁気共鳴医学会の安全性情報の欄に掲載される。
機構からは、一覧表の掲載場所を案内する。

12. 次年度学術研究班の申請について

- ・新規募集要項が決まればホームページで広報をする。
- ・申請用紙と報告書を見直す。

13. その他（次年度体制・機構運営に関わる課題など）

(1) 認定機構の第三者機関の設立について

JSRT と JART の将来構想委員会の検討結果を期待する。

JART の傘下ではなく別組織として職能団体が管理する組織になることを期待する。

機構連絡協議会の動向

専門技師を取得した業務しかできないようにならないように更新制度を協議する予定。

(2) MRI 専門技術者とそれ以外の人との知識と取り組み姿勢の乖離が大きい

診療診療放射線技師会が展開する基礎技術講習を普及させることで対応してほしい。

(3) ファントム購入について

6月の次年度第1回理事会に必要な経費を提案し、今年度の収支結果を鑑みて検討する。

(4) 試験問題に関する質問

メーカー固有のパルスシーケンス名などの出題方法について

→ できるだけ共通用語にしている。共通用語がなければ論文として出典されている用語をフルスペルで記載する。それ以外の特殊な用語の出題はしない。

(5) 機構の運営体制

2017年6月に改選を迎える。

(6) NPO 法人の運営について

一度 NPO 法人として認められると解散しないと一般社団法人にはなれない。

残余財産の処分) は以下のようになっている

第 46 条 本法人の解散に伴う残余財産は、総会に出席した社員総数の 4 分の 3 異常の議決を経て、法第 11 条第 3 項に掲げるもののうち、総会で決議したものに譲渡する。

14. 第 3 回理事会の開催について

3月上旬に第12回認定試験合格者の承認を議題としてメール審議とする。

以上